

平成25年度事業報告書

社会福祉法人 宝安寺社会事業部

はじめに

この一年間、健全な法人運営がなされ、大きな事故もなく平成25年度を終了することができました。これは行政のご指導及び地域住民の多くの皆様のご協力があつてこそ実現できたことであり、また職員一人ひとりの努力と成長の賜物であると思います。ここに感謝の気持ちをもってご報告したいと思います。

1 当期目標と方針

今年度の当期目標と方針は下記の3点でした。

- ① 当法人は、「社会福祉法」の精神を順守し、真摯かつ確実に日々の業務を遂行します。
- ② 利用者の人権の尊重、福祉サービスの質の向上、及び地域福祉の推進を図るべく、行政機関との連携と協力関係の構築を促進します。
- ③ トータルな人材育成とマネジメントの実現、職員処遇の向上と働き甲斐のある職場環境の構築、組織統治の確立と財務基盤の安定化といった諸課題に積極的に取り組みます。

2 今年度の重点テーマ

今年度の重点テーマは下記の7点でした。

- ① グループホーム事業を推進します。
- ② 障害者の高齢化対応と介護保険分野に関する研究に取り組みます。
- ③ 愛児園のこども園への移行準備を行います。
- ④ 相談支援事業の環境整備を行い、体制の確立を目指します。
- ⑤ 新会計基準の適用を開始します。
- ⑥ 人材育成制度を充実させます。
- ⑦ 行政および地域社会との連携を強化します。

3 実施状況

①グループホーム事業の推進

- ・ 重症心身障害者及び重度知的障害者向けグループホーム《ほうあんホームシトラス》の平成26年4月開設に向けた準備を進め、順調に進捗することができました。
- ・ 建築費として国庫補助金の申請手続きを行い、無事受理することができました。
- ・ 運営スタッフの確保と育成を行い、支援体制を整えることができました。
- ・ 入居家族と支援員により、利用者が安全で安心して過ごせるよう個別支援計画の作成を含めた準備を行いました。

②障害者の高齢化対応と介護保険分野に関する研究

- ・ 介護分野のセミナーに参加するなど経営面、環境面の情報収集を行いました。
- ・ 障害者の高齢化セミナーに継続的に参加し、医療、介護、健康管理など様々な視点での情報収集を行いました。

③愛児園のこども園への移行準備

- ・国の方針に未確定な部分が残る状況であり、引き続き情勢に応じた情報収集を行いながら、新制度体制へ向けた保育の取り組みについて、全職員が意識的に再確認を行いました。
- ・園の特徴を生かした保育内容（縦割り保育や行事等）の中で、職員の更なる質の向上が見られました。
- ・自己評価の取り組みを進めることにより保育の質の改善が図られました。

④相談支援事業の環境整備および体制の確立

- ・法人内利用者の相談支援に関わる協力体制の構築に取り組みました。
- ・おだわら障がい者総合相談センター開所準備（平成26年4月開設）に、他の相談委託事業所と協力して取り組みました。

⑤新会計基準の適用開始

- ・平成24年度下半期からの準備作業を経て、平成25年度から社会福社会計新基準に移行しました。

⑥人材育成制度の充実

- ・新人チューター制度を実施し、新人職員の育成に注力しました。
- ・研修プロジェクトチームを中心に、久田則夫教授（日本女子大学・社会福祉学部）による人材育成のための連続研修を企画し、実施しました（年4回実施）。
- ・就職希望者のための一貫したフォロー（施設見学から就職試験を経て入職にいたるまで）を行い、新人育成のプロセス構築に取り組みました。また新企画として、就職説明会（年2回）を実施しました。

⑦行政および地域社会との連携の強化

- ・ヒルトン小田原との連携により、きらりフェスタ（作品展示）やホテルショップでの常設コーナー設置、社員研修生の受け入れなど会社を挙げての関係構築を行うことができました。
- ・曽我大沢地区のほうあんふじ及びほうあんふじみのさとの施設を、下曽我自治会及び曽我大沢自治会と風水害発生時における一時避難所として締結を行いました。
- ・浜町地区の国際会館物件を取得し、一丁田自治会の伝統的祭礼及び自治会活動への協力につなげ、連携を深めました。
- ・広報誌『福祉ほうあん』を4号発行し、園児・利用者を取り巻く福祉現場から情報発信を行った。地域の協賛者の増加が見られた。

4 今後の課題と対応

①グループホーム事業の推進

- ・「暮らしを支える」という視点での利用者支援の意識向上まで辿りつきませんでした。この部分については平成26年度に取り組んでいきます。
- ・ショートステイ《シトラス》の準備まで十分に手が回りきらず、平成26年度に持ち越すことになりました。

②障害者の高齢化対応と介護保険分野に関する研究

- ・障害者の高齢化がますます進む中で、様々な知識や介護技術及び各機関との連携が更に重

要となります。

- ・浜町地区の国際会館物件を利用した、これからの地域ニーズに対応した高齢者の居場所作りなど更に検討していく必要があります。

③愛児園のこども園への移行準備

- ・平成27年度の新システム開始を控え、新保育情勢については引き続き情報収集をしています。小田原市の指導・調整や他の保育園との連携により、状況を見極めながら対応していきます。

④相談支援事業の環境整備と体制の確立

- ・おだわら障がい者総合相談センターの運営に関しては、事務所の設備面・運営面（一般相談・自立支援協議会等）も含め後手に回っています。4法人の協力の下での主体的運営の確立は平成26年度に持ち越されています。
- ・平成25年度は、相談員2名で成人児童合わせて約200名の相談者に対応しました。相談員が安心して仕事を行うことができる環境整備と体制作りを行いつつ、あるべき相談事業所のあり方をまとめることが必要となります。

⑤新会計基準の適用

- ・無事、新会計基準への移行を終え、今後も適正な会計処理を行っていきます。

⑥人材育成制度の充実

- ・チューター制度が開始された結果、チューター自身の育成を含め、人を育てることが出来る人づくりに取り組む必要が実感されました。平成26年度には、管理職向けの育成研修を実施します。
- ・人材の確保・育成・定着に関しては、一貫したフォロー体制の更なる充実が必要となります。

⑦行政および地域社会との連携強化

- ・浜町地区の国際会館物件を利用した、将来の地域ニーズに対応した高齢者の居場所作り等について、検討課題が山積する中、幅広い方々と共に検討していく必要があります。
- ・法人の事業や運営に関して、自治会連合会及び地元自治会役員、民生委員、児童委員等に理解を深めてもらい、参画を促していくことによって、地域福祉に対する当法人の役割を果たす取り組みの基礎づくりを進めていきます。

5 別紙参照／事業計画総括表及び詳細報告（エクセルシート）

1. 理事会の開催

①平成25年5月27日

- （ア）平成24年度事業報告について
- （イ）平成24年度決算について
- （ウ）平成24年度監事監査結果について
- （エ）経理規定の変更について
- （オ）定款変更について
- （カ）就業規則の追加について
- （キ）ほうあん第一しおん移行時特別積立金の取り崩しについて
- （ク）就労支援事業活動収支差額の積立預金化について
- （ケ）「働きやすい職場創り委員会」の設置について

②平成25年6月19日

- (ア) 今後7年間を見据えた IT 投資について
- (イ) 経理規定の変更について
- (ウ) 職員給与規定の一部追加について
- (エ) 文書管理規定の一部追加について
- (オ) ほうあん第一しおん移行時特別積立金の取り崩しについて

③平成25年10月3日

- (ア) ほうあんふじみのさと短期入所増築工事入札について
- (イ) ほうあん重度・重心ケアホーム新築工事入札について
- (ウ) グループホーム建設用地の取得について

④平成25年10月8日

- (ア) ほうあん第2しおんにおける太陽光発電による災害時対策について

⑤平成25年10月18日

- (ア) 国際通りの不動産取得について

⑥平成25年11月15日

- (ア) 定款の変更（再審議分）について
- (イ) 定款の変更（新規分）について
- (ウ) 定款施行細則の変更について
- (エ) 半期決算にもとづく第1次補正予算について
- (オ) 各種積立預金の取崩しについて
- (カ) 就業規則の変更について
- (キ) 物品購入、工事発注に関する規定の整備について

⑦平成26年2月14日

- (ア) 神奈川県・小田原市の H25年度監査結果について
- (イ) ほうあん第二しおん通園事業の平成24年度決算書の作成並びに法人全体決算書への反映について
- (ウ) 第2号議案に関する監事監査結果と小田原市への報告書について
- (エ) 規程類の新規作成と変更について
- (オ) 小田原乳児園の定員変更について

⑧平成26年3月14日

- (ア) 役員改選について
- (イ) 施設長の交代と新任について
- (ウ) 平成25年度二次補正予算について
- (エ) 平成26年度事業計画について
- (オ) 平成26年度予算について
- (カ) 規程類の新規作成と変更について
- (キ) ほうあんふじの設備投資について

2. 評議員会の開催

①平成25年5月27日

- (ア) 平成24年度事業報告について
- (イ) 平成24年度決算について
- (ウ) 平成24年度監事監査結果について
- (エ) 経理規定の変更について
- (オ) 定款変更について
- (カ) 就業規則の追加について
- (キ) ほうあん第一しおん移行時特別積立金の取り崩しについて
- (ク) 就労支援事業活動収支差額の積立預金化について
- (ケ) 「働きやすい職場創り委員会」の設置について

②平成25年11月15日

- (ア) 定款の変更（再審議分）について
- (イ) 定款の変更（新規分）について
- (ウ) 定款施行細則の変更について
- (エ) 半期決算にもとづく第1次補正予算について
- (オ) 各種積立預金の取崩しについて
- (カ) 就業規則の変更について
- (キ) 物品購入、工事発注に関する規定の整備について

③平成26年2月14日

- (ア) 神奈川県・小田原市の H25年度監査結果について
- (イ) ほうあん第二しおん通園事業の平成24年度決算書の作成並びに法人全体決算書への反映について
- (ウ) 第2号議案に関する監事監査結果と小田原市への報告書について
- (エ) 規程類の新規作成と変更について
- (オ) 小田原乳児園の定員変更について

④平成26年3月14日

- (ア) 役員改選について
- (イ) 施設長の交代と新任について
- (ウ) 平成25年度二次補正予算について
- (エ) 平成26年度事業計画について
- (オ) 平成26年度予算について
- (カ) 規程類の新規作成と変更について
- (キ) ほうあんふじの設備投資について

3. 監事監査の開催

①平成25年5月21日

4. 法人登記変更の状況

① 平成25年5月29日 資産の総額変更

5. 福祉ほうあんの発行

① 平成25年 5月15日 第109号 〔特集：小田原乳児園〕

- ② 平成25年 8月15日 第110号 [特集：福祉の仕事]
- ③ 平成25年 12月15日 第111号 [特集：小田原愛児園]
- ④ 平成26年 3月27日 第112号 [特集：ほうあんホーム シトラス]

6. 法人役職員の集い

平成25年4月13日 小田原愛児園4階ホールにおいて開催

- ・永年勤続表彰（21人）
30年(1人)、20年(4人)、15年(7人)、10年(1人)、5年(8人)
- ・資格取得表彰（4人）
知的障害援助専門員（1人）、社会福祉主事（3人）、

7. 法人内諸会議の月次開催

法人本部から望月理事長、坂元理事兼総務部長、大水理事が参加し、全施設の施設長、課長、主幹、主任等が役職毎に毎月定例的に集まり、法人全体及び各施設の課題・問題解決策の議論と情報の共有化を行った。

<開催回数>

- ・所長会議（月1回、臨時2回、合計14回）
- ・課長等会議（月1回、合計12回）
- ・主任会議（月1回、合計12回）
- ・事務職員会議（月1回、合計12回）

8. 課題解決プロジェクトチームの活動

法人の全体的または横断的な解決を求められる課題に個別に対処するため、その都度「課題解決プロジェクトチーム」を立ち上げ、解決のための調査、検討、議論を行い大きな成果を挙げた。

<開催回数>

- ・研修PT（合計12回）
- ・グループホームPT（合計12回）
- ・IT能力向上PT（合計8回）
- ・きらりフェスタPT（合計7回）
- ・運転業務PT（合計2回）
- ・福祉ほうあんPT（合計7回）
- ・リスクマネジメントPT（合計12回）

9. 経営会議の開催

施設単位の経営上の大きな案件について、必要の都度、法人本部と当該施設経営幹部からなる経営会議を開催した。

<開催対象施設と案件>

- ・ほうあん第二しおん（平成25年8月6日、根府川しおんケアホーム関連）
- ・ほうあん第一しおん（平成26年2月5日、平成26年度の事業編成）
- ・ほうあんのぞみ（平成26年2月5日、平成26年度の事業編成）

1 0. 各種委員会の開催

今年度は、職員が意欲をもって勤務できるような「働きやすい職場づくり」のための委員会を新規に発足した。月一回の会議に各施設の代表（管理職 一般職員）が参加し、職場内の課題について話し合いを持った。

＜開催回数＞

- ・働きやすい職場創り委員会（合計8回）
- ・賞罰委員会（合計3回）

1 1. 部会の開催

＜開催回数＞

- ・看護師会（合計3回）
- ・栄養士会（合計3回）

1 2. ほうあん会（成人施設合同家族会）

＜開催回数＞ 第9～13回（合計5回）

1 3. 各種補助金・助成金の受領

① ほうあんふじみのさと

- ・神奈川県平成25年度短期入所強化事業費補助金（250万円）
／短期入所室の増築

② ほうあん第二しおん

- ・神奈川県再生可能エネルギー等導入推進基金民間施設導入費補助金（485万3千円）
／太陽光発電システムの導入

③ ケアホーム建設特別勘定

- ・社会福祉施設等施設整備費国庫補助金（3,047万円）
／ケアホームシトラスの建築
- ・小田原市障害者グループホーム等設置費補助金（22万1千円）
／同上 電化製品の購入

（以上）